

## 2021年度(令和3年度)こうべエコちゃれゼミ開催の様子[第1～2回]

### 第1回 知った？タコって貝のなかまなんやて！

～舞子の海にいるたくさんの生きものにふれて、先生にいろいろ教えてもらっちゃおう～

- ◆ 本講座については、講師との調整の結果、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、残念ながら開催中止となりました。楽しみにしてくれたみんな、ごめんなさい！！



### 第2回 いろいろな虫をつかまえて、すごく楽しいね！

～都会の森や原っぱにすむ、たくさんの夏の虫たちをさがしてみよう～

- 日時 2021年7月17日(土)10時～12時
- 場所 西神中央公園<西区>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBE
- 講師 山本勝也さん(日本甲虫学会)、高畑正さん(よこお自然塾)
- 協力 神戸親和女子大学ユネスコクラブ

- ◆ 良く晴れた日で、参加者は草原で虫取り網を使って飛んでいるチョウやバッタをつかまえたり、少し奥に入ってカブトムシやクワガタを見つけたり、広く自然豊かな西神中央公園で参加者達は思い思いに虫と触れ合い、観察していました。

- ◆ その後、参加者が捕まえてきた虫の発表会を実施しました。講師の山本さんには、公園で見られる虫や、子供たちが捕まえた虫の解説をしていただきました。

- ◆ 参加した子どもたちからは、きれいな森や林を守るために「生きものを大切にする」「ペットの外来種は逃がさない」などの感想がありました。都会にすむ多様な虫たちと触れ合うことで、神戸の自然の豊かさや生きものの住む環境を守る大切さを感じてもらえたと思います。



## 2021年度(令和3年度)こうべエコちやれゼミ開催の様子[第3～4回]

### 第3回 住吉川は生きもののパラダイスや～！

～汽水域だから会えるいろんな生きものにふれてみよう～

- 日時 2021年8月7日(土)10時～12時
- 場所 住吉川汽水域(河口)＜東灘区＞
- 企画運営 (一社)アースパルKOBE
- 講師 大嶋範行さん(兵庫・水辺ネットワーク)  
安井幸男さん(兵庫・水辺ネットワーク)  
江川由紀子さん(兵庫・水辺ネットワーク)  
高田良二さん(西宮市貝類館)
- 協力 住吉川清流の会・神戸親和女子大学ユネスコクラブ



- ◆海水と淡水が混じる汽水域では、生きものの種類が多く、多様な魚やカニ・貝などの生きものを、子どもだけでなく保護者の方も熱心に捕まえ、観察していました。
- ◆講師のみなさんには、参加者が捕まえた生きものを解説していただき、地域固有の生きものや絶滅危惧種も多く見られたことを参加者は興味深く聞いていました。
- ◆参加した子どもたちからは、自然環境の保全について考えるきっかけになりました。

### 第4回 ここで神戸の天気予報を作ってるんだ！

～予報づくりの現場をのぞいてみよう。異常気象のからくりも学べます～

- 日時 2022年3月26日(土)①10時～12時  
②13時30分～15時30分
- 場所 神戸地方気象台＜中央区＞
- 企画運営 (一社)アースパルKOBE
- 講師 神戸地方気象台防災気象官
- 協力 神戸親和女子大学ユネスコクラブ



- ◆気象官から、天気予報ができるまでのお話と地球温暖化についての講義をしていただきました。普段なかなか聞くことのできないお話に、たくさん質問が出ていました！その後、見学とワークショップの時間へ。雨が降る中ではありましたが、観測露場の見学では、貴重な観測機器を見ながらの解説に参加者のみなさんも、興味深々！ペットボトルでの雨量計づくりでは、子どもだけでなく保護者も熱心に 工作し、オリジナルの雨量計づくりに励んでいました。
- ◆参加した子どもたちからは、「地球温暖化の影響で大雨が降るのを知って驚いた。」「二酸化炭素を出さないようにしたい。」など、私たちの住む地球について、考えるきっかけになったと思います。

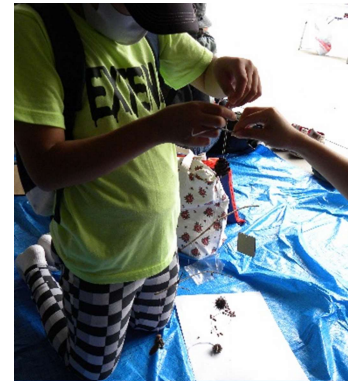
## 2021年度(令和3年度)こうべエコちゃれゼミ開催の様子[第5～6回]

### 第5回 森の中でターゲットを探してミッションをクリアせよ！

～森を散策しながら指定されたものを探そう。森からの恵み、自然を感じる工作体験にも挑戦！～

- 日時 2021年10月16日(土)10時～12時
- 場所 神戸市立森林植物園<北区>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBE
- 講師 神戸市立森林植物園のみなさん  
林山祐子さん((一社)アースパルKOBE))  
紀田俊明(日本野鳥の会ひょうご)
- 協力 神戸親和女子大学ユネスコクラブ

- ◆班毎に分かれて、園内を散策。いくつかのミッションに挑戦しながら園内の植物や昆虫に触れ、鳥の鳴き声や巣を発見するなど、のびのびと有意義な体験をしていました。周りの自然に「何？なぜ？」と興味を示す子どもたちの姿が印象的でした。
- ◆その後、拾った枝・木の実・葉などでモビールづくりに挑戦。難しかったかもしれませんが、完成すると皆さん誇らしげでした。
- ◆参加者たちからは「多くの鳥の鳴き声が聞こえた」「不思議なものを発見できてよかった」などの感想がありました。
- ◆気持ちの良い森の中でののびのびとした体験で、身近な神戸の森・自然の魅力の再発見につながったようです。



### 第6回 令和ばん、竹とりものがたりの始まり

～竹林(里山)の今と役割を知り、自然とともに生きていくことの大切さを知ろう。  
モノづくり体験もできるよ～

- 日時 2021年12月4日(土)10時～14時
- 場所 あいな里山公園<北区>
- 企画運営 (一社)アースパルKOBE
- 講師 山本茂さん(あいな里山協議会)  
余部衛さん(県立やしらの森公園)  
林山祐子さん((一社)アースパルKOBE))

- ◆「令和ばん、竹とりものがたりの始まり～」を行いました。場所はあいな里山公園。藁ぶき屋根の民家と田園風景の美しい公園です。竹林の現状や里山の保全について学んだあと、ワークショップで使用する竹を切りに行きました。初めての体験で子どもたちは興味津々でした。その後、藁ぶき屋根の民家まで戻って、餅花、飾り凧、竹ぼっくりなど、竹を使った工作をしました。
- ◆参加者たちからは「昔の人の生活のお話や竹で何でも作れることを知り、驚きとたくさんの発見をした1日でした。」などの感想がありました。
- ◆「竹を使うことで森も元気になる」、そんなことを実体験できた1日でした。

